

みんなで
つくる

播磨町新聞

播磨町は、日本で初めての民間新聞を発行した「新聞の父」ジョセフ・ヒコ」の生まれ故郷。アメリカに渡り、広い世界を見たヒコは、祖国の発展のため、多くの人たちに世界のことを知ってもらいたいと、新聞を世に送り出しました。

「みんなでつくる播磨町新聞」は、播磨町町制施行60周年を記念し、偉大な先人にならって作った新聞です。

播磨町のいいところ、好きなところ、たくさんある魅力をより多くの人に伝えたいと、住民のみんなで記事を書きました。

これを読めば播磨町をもっと好きになれるはずです。

PICK UP ミュージアムロード

6つのタイムトンネルゲートや歴史上の出来事を記した解説板などが立てられ、JR 土山駅から大中遺跡まで 2000 年の時間旅行を楽しめます。

五反田の桜
(喜瀬川)



南野添の
桜並木を散策

大中遺跡

弥生時代に
タイムスリップ



水田川

公園で
ひとやすみ



播磨
フィッシャリーナ

すぐ目の前が
フィッシング
ポイント



播磨大橋

西方向の夜景が
美しい

ふるさと橋
(メロディー橋)

楽しみ、学べる
喜瀬川のじゃことり

「歴史との“であい”
ミュージアムロード」
であいのみち

電車好きの
子どもたちに
人気



新島
中央公園
(新島球場)

実はサクラの
名所です

赤桁台

人気の釣り場



PICK UP / 播磨大橋

昭和45年(1970)に開通した新島に架かる橋。橋上からの眺め、特に夜景の美しさはバツグンです。

はりまのお気に入りのスポット



はりま くんとこ通信



子育てがしやすい
2つの子育て支援センター、子どもの医療費無料化など子育て支援が充実。「安心して子育てができるから」と子育て世代の住民が増えています。

公園が充実している

播磨町の特徴の一つは公園の多さ。町内にある都市公園の数はなんと37。スポーツ施設や文化施設を備えた複合公園、水辺を楽しめる公園、四季折々の花に出会える公園、遊具が充実した公園など、それぞれ個性があつて魅力的。自然とふれあいながらのびのび遊んだり、整備された気持ちのよい遊歩道を散歩したり、子どもから大人まで住民の憩いの場として親しまれています。



自慢できる歴史がある

国指定史跡の大中遺跡は弥生時代後期いにしえから古墳時代初頭を代表する史跡。古から住みよい土地だったことの証です。

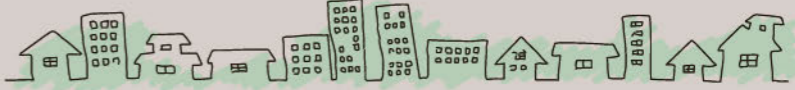


まちの発展を支える新島・東新島

町面積の約3割を占める新島・東新島は播磨灘に面した人工島。播磨臨海工業地帯の一翼を担い、製造業を中心に約60社の企業が操業しています。播磨町の産業の拠点として、雇用や税収などの面でまちに活力をもたらし、発展をけん引しています。

緑も川も海もある

波穏やかな瀬戸内海に面し、温暖な気候のもと海辺、川や池の緑・緑地でウォーキングを楽しむ人が多いです。都市化が進んでもまちのあちこちで豊かな緑と生き物に出会えるように公園や緑地が整備されています。



コンパクトなまち

播磨町は県内随一のコンパクトシティ。わずか9.13km²の町内はどこでも自転車で行けて機動性もバツグン。



3 播磨保育園一期生

私は昭和38年9月に開園した播磨保育園の一期生です。旧・播磨信用農協本店事務所を借りての開園で、開園準備で中庭を整地するのに父親と一緒に足踏みをして手伝いました。現在、その場所は健康いきいきセンター、福祉しあわせセンター、デイサービスセンターが建っています。町の健康福祉の拠点としてますますの発展を願います。



松本 嘉太郎さん(大中東 63歳)

2 給食と弁当

小学6年生のときに給食が始まった。牛乳は脱脂粉乳だったような気がする。中学校では弁当を持って喜瀬川の土手へ出かけ、桜の木の下で友だちと食事をしたことが懐かしい。同じ場所ではウォーキングを楽しんでいる。

澤田 秀隆さん(二子北 77歳)

4 北池にあった御旅所

小学生のとき、二子住吉神社の秋祭り屋台に乗り子として乗り、祭りばやしを歌いながら太鼓を叩きました。宵宮は神社を練り、昼宮は二子北地区を回り、北池の西の土手をすすみ御旅所まで行きました。そこでみんなで昼食をとったことが楽しい思い出です。



松井 昭雄さん(二子北 71歳)

6 60年前の播磨中学校

私は阿閉中学校の最後の卒業生です(昭和37年3月卒業)。写真は卒業直前に撮影された航空写真で、町制が施行された当時の播磨中学校の姿でもあります。西側には建築中の鉄筋校舎、運動場の東側にあるのは仲間と汗を流したバスケットボールのコートです。60年前のことが昨日のように思い出され、懐かしさでいっぱいです。

筒井 修さん(古宮 75歳)

5 思い出深い中学校

私が中学生のときに村立から町立に変わりました。団塊の世代の私たちは小学校、中学校とも1校だったのでみんなが互いの名前を知っていました。喜瀬川の土手に座ってお弁当を食べた記憶がよみがえります。

井澤 妙子さん(大中東 73歳)

7 初めてのコンクリート校舎

小学校と中学校の通学路は、あぜ道と溜池の土手でした。冬になると溜池の水が抜かれるので、風よけのため、溜池の中を歩いて学校に行きました。中学校の校舎は人生初のコンクリート造りで印象に残っています。

櫻井 美也子さん(古田 75歳)



あの頃、あの場所に思いをはせる

町制施行から播磨町とともに歳月を重ねてきた住民のみなさんに、まちにまつわる思い出を語っていただきました。

1 阿閉漁港へ飛び込んだ麻雀牌

昭和40年の夏の夜、友人たちと阿閉漁港東波止場(現・あえのはま広場東側)で屋外麻雀を楽しんだ。北(ベイ)の場で友だちが力強く北の牌をきった瞬間、牌がはねてチャボンと海の中へ飛び込んだ。今でも思い出すたびに笑顔です。

王子 收さん(東本荘 74歳)

8 大中遺跡発見

町制が施行された昭和37年、播磨中学校(4月に阿閉中学校から改称)の3年生だった私と友人の大辻要二、大辻真一の3人は大中地区北方台地上の大增(おおぞ)畑と呼ばれる畑で弥生式土器を採集し、それが大中遺跡発見の端緒となりました。その後の国の史跡指定、郷土資料館開館、遺跡公園整備、県立考古博物館開館へとつながったことは感慨深いです。

浅原 重利さん(大中 74歳)



当時の新聞記事

10 古田・大中の田園

私が播磨小学校に通学していたころ、自宅から学校までは田園風景が広がっていました。田んぼで風揚げやソフトボールをよくしました。肥溜めがあったので「気つけよ。落ちるなよ」とよく言われていたのが今では懐かしい思い出です。

津村 道彦さん(古田東 61歳)

11 土山駅の思い出

私は現在居住している場所で生を受け、現在に至っております。町制が施行された当時、小学校は1校しかなく、土山駅北側の自宅から阿閉小学校(現・播磨小学校)まで通学するのが大変遠く感じられたものです。平成15年にJR土山駅が橋上化されたときのことも強く印象に残っています。



赤土 達雄さん(土山駅前 73歳)

9 本荘駅(現・播磨町駅) 付近の田園風景

昭和45年に播磨町に引越してきた当時、駅までの道は舗装されておらず、家もまばらで田園風景そのものでした。レンゲ畑、カエルの大合唱、黄金の稲穂の波、稲塚など四季折々の景色で楽しませてくれました。

宮下 美代子さん(東本荘 95歳)

12 思い出は走馬灯のように

春、蝶々を追いかけて走り回った菜の花畑。夏、トンボ捕りに夢中になった石ヶ池。秋、黄金色に輝く浜田の田んぼ。冬、家族一緒に参詣した阿閉神社。いろいろな情景が走馬灯のように駆け巡り、自然やゆったりした日常が失われつつあるのを寂しく思う今日この頃です。

平崎 泰彦さん(本荘西 68歳)



当時の思い出写真(播磨中)

13 野添住吉神社の思い出

木々が鬱蒼とした社殿の周りは子どもにとって絶好の遊び場でした。猿のように木々を飛び移り、境内では野球に熱中しました。成長してからは夏の盆踊りや秋のキノコ狩りに興じるなど青春時代の思い出が多いお宮さんです。

佐伯 正道さん(宮山 73歳)



15 昭和30年代の本荘の浜

本荘の海岸が埋め立てられる前、波の音が聞こえるくらい近くに住んでいました。波打ち際を走ったり、貝殻を探したり、漁船の陰でかくれんぼをしたり。夕日が工場の向こうに沈むまでみんなで遊んだものでした。遠い日の記憶をたどりながら今も時々、海辺を散歩しています。

石川 眞知子さん(東本荘 73歳)



16 であいのみち～土山駅

夏になると土山駅から別府鉄道に乗って海水浴に行ったことを思い出します。当時は乗客も少なくのんびりしていました。車中では田畑が広がる景色を見たり、家族や友だちと会話をしたり、本当に楽しい時間でした。

田尻 美恵子さん(野添 69歳)

14 今は昔のものがたり

50年ほど昔、蓮池に小学校ができることになり、未完成の校庭で地元有志の主催により盆踊りが催されました。浪曲師の真山一郎一行の来演で会場はにぎわい、夜が更けるのも忘れ、小学校誘致をみんなで祝い、感謝し、喜び合いました。

戒井 皓二さん(野添瓜生 88歳)

17 ガッターンの走る風景

播磨小学校前を通り、シンボルのクスノキを見ると木造校舎など昔の思い出がよみがえります。また、「であいのみち」を歩くと、昭和59年に廃線になった別府鉄道(通称ガッターン)の蒸気機関車が走っていた風情のある情景が懐かしく思い出されます。

佐伯 英治さん(野添城 73歳)



まちで働くみなさんより

未来の わたしと播磨町へ

未来への期待や夢、誓いなどをまちで働くみなさんに聞きました。



私たちが住む播磨町から
交通事故を1件でも減らすため、
職員一同、気持ちを
一つにして頑張ります。

株式会社東播自動車教習所 浅原 真唯人より

播磨町内での産業連関がより一層深まり、
世界に通じるものづくりのまちとして
成長して行ってほしい。

川崎重工業株式会社 増田 有佑より



自動車電動化による

脱炭素社会の実現に寄与し、播磨町の
サステナブルな発展に貢献したい。

住友金属鉱山株式会社播磨事業所 中村 孝太郎より

新井開削の父 今里傳兵衛、

新聞の父 ジョセフ・ヒコ、

兵庫県立考古博物館(大中遺跡)など

播磨町が誇る先人や文化遺産を

後世に伝えて行ってほしい。

大和紡績株式会社播磨工場 筒井 茂晴より

長年蓄積した確かなものづくりを通して
播磨町の未来に資する人々の
豊かで快適な暮らしに貢献していきます。

多木化学株式会社 出口 文太より

播磨町の産業発展の
一端を担っていきけるよう

継続的に尽力していきます。

田岡化学工業株式会社 西田 勝彦より

世界中の船舶に搭載されている当社の製品。

MADE IN 播磨町として

世界に誇れる製品づくりを継続し
播磨町とともに成長していきます。

兵神機械工業株式会社 雪永 泰宏より



子どもたちが明るく自分らしく
輝けるまちになるように

子どもと一緒に成長していけるよう努力したいです。

住友精化株式会社 藤井 沙緒里より

